



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月4日

上場取引所 東大

上場会社名 塩野義製薬株式会社
コード番号 4507 URL <http://www.shionogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手代木 功
問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 高木 浩樹

TEL 06-6202-2161

四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	211,443	6.4	43,208	24.6	42,583	23.2	28,340	52.6
24年3月期第3四半期	198,734	△8.5	34,688	△2.9	34,566	2.5	18,574	37.3

(注)包括利益 25年3月期第3四半期 35,071百万円 (205.4%) 24年3月期第3四半期 11,482百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	84.62	84.59
24年3月期第3四半期	55.46	55.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	527,889	368,944	69.3
24年3月期	522,161	347,198	65.9

(参考)自己資本 25年3月期第3四半期 365,844百万円 24年3月期 344,216百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
25年3月期	—	20.00	—		
25年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	283,000	5.9	56,000	19.1	54,000	17.2	32,000	18.1	95.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(注)当四半期連結累計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(注)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、四半期決算短信[添付資料]P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期3Q	351,136,165 株	24年3月期	351,136,165 株	
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	16,234,850 株	24年3月期	16,240,245 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	334,900,647 株	24年3月期3Q	334,897,445 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信[添付資料]P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,114億43百万円、営業利益432億8百万円、経常利益425億83百万円、四半期純利益283億40百万円となりました。

売上高につきましては、国内医療用医薬品の販売が、「クレストール」「イルベタン」「サインバルタ」の増加で薬価改定による影響をカバーし、前年同期比0.3%の微増となりました。海外におきましては、シオノギINC.が、多大な売上控除を計上した前年同期から回復したのに加え、中国子会社のC&OファーマシューティカルテクノロジーホールディングスLtd.の売上も加わり、大きく増加しました。また、クレストール以外のロイヤリティー収入の増加もあり、全体としての売上高は前年同期比6.4%の増加となりました。

一方、利益面では、売上高の増加に加え、米国売上の回復に伴う原価率の改善があり、売上総利益が前年同期比9.0%の増加となりました。販売費及び一般管理費につきましては、前年同期比3.8%の増加にとどまったため、営業利益、経常利益はそれぞれ前年同期比24.6%、23.2%の増加となりました。四半期純利益につきましては、前年同期に米国における特別損失等があったことにより52.6%の増加となりました。

なお、抗HIV薬に関する英国ViiV Healthcare Ltd.（以下ViiV社）との契約変更に伴い、当社グループのシオノギViiVヘルスケア、L.P.持分の簿価と、ViiV社株式10%の時価（公正価値）との差額を特別利益（投資有価証券交換益）として411億18百万円計上しております。また、この契約変更を機に、米国事業の経営リソースの再配分を検討し、シオノギINC.が取り扱っている品目に係る販売権等の減損テストを実施しました。のれんについても、医薬品事業全体から米国事業へのグルーピング変更に伴い減損テストを実施しました。この結果、393億59百万円の減損損失を計上しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は5,278億89百万円で、前連結会計年度末と比べて57億27百万円増加しました。流動資産は、主として現金及び預金並びに受取手形及び売掛金の増加や短期運用の有価証券の減少などにより、前連結会計年度末より13億56百万円少ない2,395億75百万円となりました。固定資産は、主としてのれんおよび無形固定資産のその他（販売権等）が減損により減少する一方、ViiV社の株式取得により投資有価証券が増加し、前連結会計年度末より70億83百万円多い2,883億14百万円となりました。

負債合計は1,589億44百万円で、前連結会計年度末と比べて160億18百万円減少しました。流動負債は、主に支払手形及び買掛金の増加や固定負債のその他（長期未払金）の短期振替などによる増加がある一方、普通社債の償還による減少などにより、前連結会計年度末より24億62百万円少ない796億1百万円となりました。固定負債は、長期借入金金の減少や固定負債のその他（長期未払金）の短期振替などにより、前連結会計年度末より135億55百万円少ない793億43百万円となりました。

純資産合計は3,689億44百万円で、前連結会計年度末と比べて217億46百万円増加しました。株主資本は、四半期純利益の計上および配当金の支払などの結果、前連結会計年度末より149億50百万円多い3,903億87百万円となりました。その他の包括利益累計額は、主として為替の変動による為替換算調整勘定の増加などにより、前連結会計年度末より66億77百万円多い△245億43百万円となりました。また、新株予約権は64百万円、少数株主持分は53百万円のそれぞれ増加となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点におきまして、平成24年11月2日発表の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当する事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当する事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当社グループは、有形固定資産の減価償却方法について、従来、主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より定額法へ変更しております。

当社グループでは、2010年度からの第3次中期経営計画において、従来型の販売初期に急激な伸びを見せる製品を中心とする体制から、長期安定的な収益が見込める戦略8品目を中心とした体制に転換して着実に成長すること、またグローバル展開においては、新薬開発のグローバル化を目指して米欧亜における拠点整備を進めることを基本戦略として掲げております。

上記戦略8品目の販売拡大を目指して取り組んだ製造設備の集中・増強（固形製剤棟の建設、打錠・造粒設備等の増強など）がほぼ整ったことに加え、戦略8品目の売上高の国内医療用医薬品の売上高に占める割合が当連結会計年度に初めて50%を超える見込みであり、今後もその割合は増加することが見込まれていることと、英国に設立した連結子会社シオノギLtd. が当連結会計年度に事業を開始することで米欧亜の拠点整備が実現したことを契機に、有形固定資産の減価償却方法を見直した結果、以下の理由から定額法に変更することが当社グループの実態をより適正に表すものと判断いたしました。

①従来の販売初期に急激な伸びを見せ比較的早期に設備投資額の回収に繋がる製品を中心とする体制から、長期安定的な収益を見込める戦略8品目を中心とする体制に移行することにより、設備の稼動についてもより平準化、安定化が見込めること。

②在外連結子会社については従来より主として定額法を採用しており、日米欧亜の拠点が一体となってより効率的かつ効果的に経営資源を配分し、グローバルな研究開発・生産・販売体制の構築及び維持管理に資するようになるためには、グループ会計方針を定額法に統一することが必要であること。

この変更により、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の売上総利益は404百万円、営業利益は2,271百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,396百万円増加しております。

(追加情報)

連結子会社の事業年度等に関する事項の変更

当連結会計年度より、台湾塩野義製薬（股）は、決算日を12月31日から3月31日へ変更いたしました。この変更により、平成24年1月1日から平成25年3月31日までの15ヶ月決算となっております。この決算期変更に伴い、当第3四半期連結損益計算書は、同社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの12ヶ月間を連結しております。同社の平成24年1月1日から平成24年3月31日までの内部取引消去後の、売上高は386百万円、営業利益は145百万円、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ149百万円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,427	23,146
受取手形及び売掛金	65,568	69,727
有価証券	86,556	75,441
商品及び製品	26,040	29,302
仕掛品	12,662	12,068
原材料及び貯蔵品	11,418	10,231
その他	20,275	19,667
貸倒引当金	△17	△11
流動資産合計	240,931	239,575
固定資産		
有形固定資産	74,282	77,854
無形固定資産		
のれん	63,572	37,456
その他	43,121	29,336
無形固定資産合計	106,694	66,793
投資その他の資産		
投資有価証券	63,568	106,682
その他	36,783	37,065
貸倒引当金	△97	△81
投資その他の資産合計	100,253	143,666
固定資産合計	281,230	288,314
資産合計	522,161	527,889
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,613	13,908
1年内返済予定の長期借入金	14,000	14,000
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	9,891	5,849
賞与引当金	6,745	4,180
返品調整引当金	5,356	6,634
その他の引当金	25	—
その他	27,430	35,027
流動負債合計	82,063	79,601
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	49,000	41,524
退職給付引当金	8,793	8,968
その他	15,106	8,851
固定負債合計	92,899	79,343
負債合計	174,963	158,944

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	20,227	20,227
利益剰余金	353,676	368,620
自己株式	△19,746	△19,739
株主資本合計	375,436	390,387
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,729	8,132
繰延ヘッジ損益	△141	△193
為替換算調整勘定	△38,809	△32,481
その他の包括利益累計額合計	△31,220	△24,543
新株予約権	58	123
少数株主持分	2,923	2,976
純資産合計	347,198	368,944
負債純資産合計	522,161	527,889

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	198,734	211,443
売上原価	59,612	59,817
売上総利益	139,122	151,625
販売費及び一般管理費	104,433	108,417
営業利益	34,688	43,208
営業外収益		
受取利息	241	225
受取配当金	1,058	1,015
為替差益	213	537
その他	1,104	372
営業外収益合計	2,618	2,150
営業外費用		
支払利息	1,004	891
寄付金	918	863
その他	816	1,019
営業外費用合計	2,740	2,775
経常利益	34,566	42,583
特別利益		
固定資産売却益	509	228
投資有価証券交換益	—	41,118
投資有価証券売却益	152	1,017
特別利益合計	662	42,363
特別損失		
固定資産売却損	—	240
減損損失	1,555	39,359
投資有価証券評価損	487	375
違約金損失	1,334	88
災害による損失	1,089	—
事業構造改善費用	821	—
特別損失合計	5,287	40,064
税金等調整前四半期純利益	29,940	44,882
法人税、住民税及び事業税	13,271	15,454
法人税等調整額	△1,902	1,032
法人税等合計	11,369	16,486
少数株主損益調整前四半期純利益	18,570	28,396
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3	55
四半期純利益	18,574	28,340

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	18,570	28,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△402	402
繰延ヘッジ損益	444	△52
為替換算調整勘定	△7,130	6,325
その他の包括利益合計	△7,088	6,675
四半期包括利益	11,482	35,071
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,602	35,018
少数株主に係る四半期包括利益	△119	53

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当する事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当する事項はありません。